

<b>授業科目名</b> 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅶ		<b>単位数</b> 4単位	
<b>担当教員名</b> 申明直（シン ミョンジク）		<b>開講期間</b> 通年	
<b>講義概要</b> 近代が始まったばかりの時代、近代の問題を克服する多様な実験と文学作品を検討する。この講義では、特にオーエン・フリーエから 1920~30 年代の香川豊彦・内村鑑三・宮沢賢治、植民地朝鮮の裴敏洙・劉載奇・許文日に至る「農村共同体（農民コミュニティー）」論を考察する。新自由主義の「競争」ではない、これらの「協同」論が持っている現在の意味を把握する。			
<b>授業計画</b>			
第 1 回	ガイダンス	第 16 回	グルントヴィ「folkehøjskole」
第 2 回	R・オーエン「New Lanark」	第 17 回	グルントヴィ「生の啓蒙」
第 3 回	オーエン「Labour Note」	第 18 回	内村鑑三「国民高等学校」
第 4 回	オーエン「全国衡平労働交換所」	第 19 回	内村鑑三「デンマルク国の話」
第 5 回	オーエン「New Harmony」	第 20 回	宮沢賢治「羅須地人協会」
第 6 回	発表および討論	第 21 回	宮沢賢治「農民芸術論綱要」
第 7 回	フリーエ「Phalange」	第 22 回	発表および討論
第 8 回	フリーエ「Phalanstère」	第 23 回	裴敏洙「基督教社会主義」
第 9 回	フリーエ「情念と調和」	第 24 回	劉載奇「農友会」
第 10 回	発表および討論	第 25 回	劉載奇「高等農事学院」
第 11 回	賀川豊彦「死線を越えて」	第 26 回	李晟煥「朝鮮農民社」
第 12 回	賀川豊彦「友愛の経済学」	第 27 回	朝鮮農民社の「農民共生組合」
第 13 回	賀川豊彦「立体農業」	第 28 回	朝鮮農民社の「協同耕作契」
第 14 回	賀川豊彦「三愛主義」	第 29 回	許文日の小説「自主村」
第 15 回	前期のまとめ	第 30 回	後期のまとめ
<b>テキスト</b> 丸山 武志、『オウエンのユートピアと共生社会』、ミネルヴァ書房、1999 石井洋二郎、『科学から空想へ：よみかえるフリーエ』、藤原書店、2009 賀川豊彦、『死線を越えて』、PHP 研究所、2009 オルタ・トレード・ジャパン、『季刊 at』15号、2009年4月号 N.F.S.グルントヴィ、『生の啓蒙』、風媒社、2011 방기중, 『裴敏洙의 농촌운동과 기독교사상』, 연세대 출판부, 1999 1920~30 年代植民地朝鮮の雑誌『朝鮮農民』・『農民』に入っている農民小説と言説			
<b>参考文献</b> テキスト以外の 1920~30 年代植民地朝鮮の農民小説に関する論文と理論書。授業の中で紹介する。			
<b>成績評価</b> レポート、発表などによる総合的評価			

